

名古屋市の 2018 年度予算案は、大企業・大金持ち減税を続けながら、減税をテコに、市民サービスの削減、福祉・教育の民間委託、民営化を進めるものとなっています。

日本共産党は、ムダな事業などをやめて 142 億円の財源をつくり、福祉・教育・暮らしの拡充を行う抜本的な予算の組み替えを提案しました。

金持ち減税をやめ ムダを削る

財源
142億円

- × 市民税 5%減税 121 億円
- × リニア中央新幹線開業を見据えたまちづくりの推進 2 億 7600 万円
- × 名駅周辺地下公共空間整備 1 億 6020 万円
- × 名古屋城天守閣事業への貸付 5 億 2992 万円
- × 市議任期中 1 回の海外視察の中止 1400 万円
- 他

やれば出来ます！

5%減税のうち、共産党が大企業優遇税制と批判してきた法人市民税減税は来年度から廃止に。約 34 億円の財源が生まれます。

代わり
に
こ
う
使
う

市民の福祉や暮らし 子育て支援の予算を増やす

- 小学校 3 年生までの 30 人学級拡大と中学校 2 年生までの 35 人学級拡大 21 億 4020 万円
- 小学校給食費の無料化 41 億 8000 万円
- 小中学校図書館司書の全校配置 2 億 2330 万円
- 高等学校給付型奨学金の支給対象の拡大（全非課税世帯対象） 1 億 3536 万円
- 国民健康保険料の子どもに関わる均等割の廃止（18 歳未満対象） 18 億 580 万円
- 18 歳までの医療費無料化 14 億 9000 万円
- 介護保険料の値上げ中止 33 億 8063 万円
- 商店リフォーム助成の創設 5000 万円
- 他

敬老パス もっと便利に

上飯田連絡線でも敬老パスが使える

名古屋市内なのに敬老パスが使えなかった上飯田連絡線の味鋸—上飯田間。敬老パス利用を求める住民の皆さんとともに、日本共産党名古屋市議団も繰り返し名古屋市に要求。ついに今年 10 月から実現します。

今後 10 年間は値上げしない

市は、敬老パスの利用者負担も今後 10 年間は値上げせず、現状維持する方針を示しました。

名鉄・JR などへの利用拡大の 展望が開かれた

地下鉄・市バスが少なく、敬老パスを利用しづらい地域があります。地域間で不公平がないよう、名鉄・JR へ敬老パスを利用拡大することが住民の強い願いです。2017 年に日本共産党が守山区で行った敬老パスアンケートでも、敬老パスを利用していない住民の 80%が「名鉄や JR で敬老パスが使えるのなら利用したい」と回答しています。

利用拡大のための必要経費は以前、50 億円と試算されていましたが、新たな市の試算では 9 億円でできることがわかりました。全会派が利用拡大を要望しており、市も「課題を検討し、2 年間で見通しをつけたい」と言っています。

利用制限？使ってこそ効果を発揮

「敬老パスで年間 100 万円も使う人がいる」と自民党議員が市議会でもとりあげ、市は「利用限度額も検討する」と回答しました。でもちょっと待って！敬老パスは気軽に使っていただいてこそ健康増進や社会参加などの効果が発揮されます。利用を抑えてしまっは本末転倒です。

ちなみに地下鉄市バス乗り放題の全線定期券は 6 ヶ月で 9 万 9960 円、一年間でも 19 万 9920 円です。100 万円も支払うことはありません！

住民とともに 住民の願い実現

日本共産党名古屋市会議員団
ニュース 260 号 2018 年春

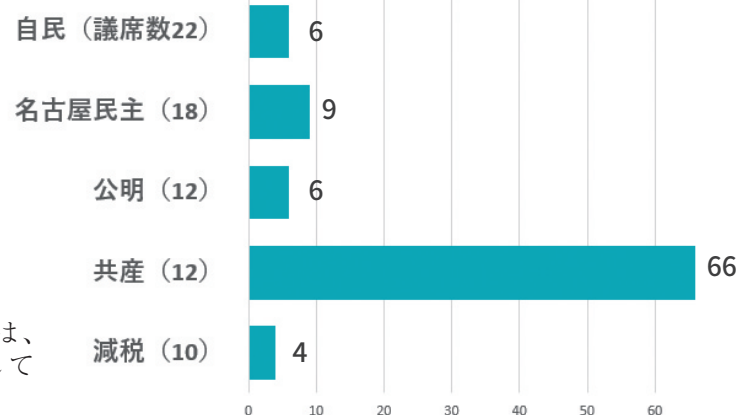
請願

請願・陳情は、住民が議会に文章で希望などを申し出ることです。請願は議員の紹介が必要、陳情にはいりません。

2 月議会には請願 5 件、陳情 7 件が住民から提出されました。日本共産党は 5 件すべての請願の紹介議員となりました。2015 年の名古屋市議選以降、66 件の住民の声を議会に届けたことになります。

提出された請願・陳情の審査は、2 月議会閉会後 6 月議会が始まるまでの間、閉会中審査として各常任委員会で行われます。

請願紹介件数（総数 71 件 2015.5 ～ 2018.3）



※名古屋市議会の民進党と立憲民主党議員は、2018 年より統一会派「名古屋民主」に合流しています。



名古屋市 2018 年度予算について、河村市長（左）に要望する日本共産党名古屋市会議員団 12 人（2018 年 1 月）



田口一登

天白区選出 (6 期目)

日本共産党 代表質問

小学校給食費の無償化を

日本共産党はこれまで、本会議質問などで何度も小学校給食費の無償化を求めてきました。2月議会の代表質問では、公明党も初めて給食費無償化について質問。杉崎教育長は、有識者や学校関係者による検討会議を立ち上げ、「無償化を含む給食費のあり方や給食内容の充実を検討したい」と答弁しました。田口一登議員はこの答弁を受けて、河村たかし市長に「無償化の実施に向けて検討を始めてほしい」と求めました。

市立若宮商業は存続へ

市立若宮商業の存続を求める48000 人余の署名が市長などに提出されました。田口議員は、「多くの署名に込められた市民の世論と有識者懇談会の議論を踏まえれば、若宮商業を存続させる道が開かれたと受け止めるが、いかがか」と質問。杉崎教育長は「署名や有識者懇談会での意見を踏まえ、同窓生や保護者等からも十分に意見を聞き検討していきたい」と答弁しました。若宮閉校方針は撤回に向かっています。

南京市との交流再開へ提案

今年は名古屋市と南京市との友好都市提携40周年です。しかし、河村市長の「いわゆる南京事件というのはなかったのではないか」との発言が発端となって、公の交流が一時停止しています。田口議員は交流再開に向けて、「市長の発言は名古屋市の公式見解ではないことを南京市側に伝えて、理解を得る努力を」と提案。広沢副市長は「市には南京事件に関する公式見解は、当時も今もない。このことを私から南京市に伝え、理解を求めるよう努力する」と答弁しました。

岡田ゆき子

北区選出 (2 期目)



高校生給付型奨学金支給の対象者拡大を

日本共産党が子どもの貧困対策として求めてきた給付型奨学金制度が2017 年から始まりました。しかし支給対象は非課税世帯の半数です。岡田ゆき子議員は「半数に選別する理由は何か」と追及し、教育長は「生徒に努力を促すような制度をめざした」と答弁。岡田議員は「愛知子ども調査」で学習の習熟度や意欲等が保護者の所得等で差がみられた結果を示し、「すべての非課税世帯へ支給を」と求めました。

西山あさみ

中区選出 (1 期目)



性暴力防止へ正しい理解を

西山あさみ議員は性暴力について、「抵抗しない被害者が悪い」という社会的偏見を指摘。他都市のリーフレットを示しながら「被害者も加害者も生み出さないよう、性暴力防止に向けた理解促進のためのグッズなどを作成し学校等で活用を」と求めました。被害に遭っても誰にも相談できず、実態が内面化し続ける被害者の苦悩を説明し、「一人の被害者を見逃すことが新たな被害者を生み出す悪循環に繋がる。性暴力とは何か。正しい理解を広げて性暴力の防止に取り組んでほしい」と訴えました。

藤井ひろき

中村区選出 (1 期目)

実効的な民泊条例を

藤井ひろき議員は、民泊条例案について市民の暮らしと宿泊者の安全を確保する立場から質問。民泊は市内中心部に集中することが予想されますが、条例が制限するのは住居専用地域のみです。藤井議員は「制限範囲を広げるべき」と要求。さらに「民泊営業前に周辺の町内や学区への説明などの義務付けを」と求めました。健康福祉局長は「届け出前に周辺住民に説明するなどの指導を検討している」と答えました。

柴田民雄議員は反対討論で、港区の大規模団地で100 戸規模の民泊事業を展開するとの報道を紹介。保健所再編により、2018 年から港区には民泊対応部署がなくなるなどの問題を指摘し、事前届出の受付開始は延期して条例は作り直せと求めました。

柴田民雄

昭和区選出 (1 期目)



青木ともこ

西区選出 (1 期目)



西区役所跡地問題は住民の疑問に答えよ

青木ともこ議員は、2010 年1 月に移転・新築後、8 年間放置されたままの西区役所跡地問題を質問。市は、地元住民の要望「福祉施設への跡地活用」にむけて調整中であり、「結論が出たら報告する」として、地元への状況説明も情報開示もしようとしません。青木議員は、撤去されないままの旧庁舎は耐震性が極めて低く、大きな地震で倒壊する恐れがあることにもふれ、まずは近隣の安全確保のため、すみやかな撤去を強く求めました。

質問タイム
2018 年 2 月 19 日
から 3 月 19 日まで開
かれた名古屋市 2 月議会。
この議会の論点と日本共産
党の主張をご紹介します。

山口清明

港区選出 (4 期目)



介護保険料値上げを防ぐ対案を示す

山口きよあき議員は、愛知県下で一番高い名古屋市の65 歳からの介護保険料値上げを止めるよう提案。健康づくり・予防重視で介護費用を抑えます。一つは口腔ケアの徹底です。誤嚥性肺炎などを防ぎ入院期間も短くなります。もう一つは高齢者サロンの普及です。サロン参加者の要介護認定率や認知症発生率がぐんと下がった武豊町の取り組みを紹介。予防に関する保険料を市が負担すれば値上げはストップできます。

敬老パスの上飯田連絡線利用拡大、法人市民税減税の廃止などは市政の前進点です。

一方で、名古屋市政は以下の点で安倍政権の悪政からの防波堤の役割を果たしていません。①介護保険料値上げで高齢者を苦しめること、②人件費削減を口実に公立保育園や幼稚園を廃止し、保育園や学校給食の民営化を進めていること、③個人市民税減税は続けること、④市民合意のない大型開発を進めていること（2022 年名古屋城天守閣木造化、2027 年リニア開業に伴う名古屋駅前開発、国際展示場の建設）
一般会計予算に反対し、18 歳までの医療費無料化や小学校給食無償化など予算組み替えを提案しました（4 ページ参照）。

さはしあこ

緑区選出 (2 期目)



避難所の鍵どうする？

「避難所の鍵が閉まっていたらどうしよう」。さはしあこ議員は区民の声を紹介し、市施設への地震自動解錠鍵ボックスの導入を提案。防災危機管理局長は「一定の効果が期待できる。課題を整理する」と答弁。札幌の生活困窮者向け共同住宅火災を受け、さはし議員は「国は、ケースワーカーが防火体制を確認し、消防に情報提供することを検討している。市の考えは」と質問。健康福祉局長は「適切に対応していく」と答えました。

江上博之

中川区選出 (4 期目)



予算反対討論